

2004 年頭のご挨拶

2004 年 1 月 16 日

日本ボンド磁石工業協会
会長 原田 英樹

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、景気回復の明るい灯火がつき始めた中、久方ぶりの休日をご家族共々、ゆっくりと楽しく、お過ごしになられた事と拝察申し上げます。今年のお正月はいつもの年のように、比較的暖かい、明るいお天気恵まれ、初詣やスポーツに、心ゆくまで愉快地に過ごされたことと存じます。十分に鋭気を養いました。はつらつと新しい年に挑戦して参りましょう。

昨年 1 2 月例年通り、国際シンポジウムを開催致しました。昨年の中国 SARS 問題のあおりを受け、また日本の物作り復興の気運を受け、今回は「新技術開発による日本の空洞化対策」と致しました。欧米の状況を IMA の W. Benecki およびモータ技術の J. West に講演いただきました。欧米では磁石製造メーカーはどんどん減少し、特色のある製品を短納期で作れるメーカーのみが残っている状況が説明されました。日本も全く同じ状況で、6 件の新技術、新製品の発表は日本生き残りの条件をはっきりと示したのと言えましょう。

工場見学は J F E の酸化鉄工場と製鉄ラインを訪問させていただきました。丁寧なご案内をいただき、新生 J F E の意気込みをひしひしと感じ取ることが出来ました。酸化鉄製造技術も確実に改善が進んでおります。5 月の技術例会は「大型回転機への磁石の応用」、9 月の例会は「小型モータへのボンド磁石の応用」と、省エネ、小型化に必須の磁石の重要性を改めて認識致しました。

日本および世界のボンド磁石の市場は昨年 1 2 月のマーケットデスクッションにより更に正確に算定出来るようになりました。世界的に中国メーカーの進出、中国、東南アジア、メキシコなどへの工場移転が急速に進行しております。その中であって、日本の国内生産は、特色ある製品や新技術の開発、徹底的コストダウンなど懸命な努力により、大幅な単価の下落に耐え、2002 年対比重量でほぼ横ばい、金額で 91%, 217 億円と健闘致しました。特にリジッドフェライトおよび希土類磁石は重量での大幅アップが見られます。日本メーカーの世界全体での生産は約 3.9 億 \$ で、世界的に単価下落の中、シェアはあまり低下してないと思われます。今後も最も収益の出せる、適地開発、適地生産を素早く推進することが経営の柱と考えます。

事務局は多田専務理事の休日も厭わない縦横のご活躍により、スモーレストオフィスを維持しながら、困難な事務処理を乗り切っていただいております。経済産業省との良い関係も確立出来たと思います。厚く感謝申し上げます。

今年も世界経済は多くの不安要因を抱えております。自ら素早く革新的行動を取る者のみが、確実に発展出来るのだと考えます。今年も世界に目を向け、明るく希望を持って頑張ってください。

以上